



『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』
－記者発表資料－

平成23年 9月 8日
四国地方整備局

平成23年度 第1回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

●平成23年度第1回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成23年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成23年8月31日に開催し、平成23年度（平成23年度実施方針に基づいた案件）の工事49件について提示し、その中から委員により抽出いただいた代表案件3件について具体的な内容説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成23年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等32件について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・技術提案を求めるにあたっては、過度なコストを要する提案を抑制するような記載方法等の更なる工夫に努められたい。
- ・技術提案を複数求める場合は、技術提案毎に品質確保の観点から加算点のウェイト付けに留意されたい。
- ・低価格入札については、実態をより正しく把握するため、契約状況だけでなく低価格入札札数の状況を含め、更なる分析に努められたい。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成23年8月31日（水） 14:00～16:00
2. 場所：サンポートホール高松（ホール棟）5階54会議室
3. 出席委員：渡邊法美委員、松島学委員、木原茂委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

| | | | | |
|----------|-------|---------|--------------------|----------|
| <問い合わせ先> | 国土交通省 | 四国地方整備局 | 企画部 | |
| 技術開発調整官 | 藤山 | 究 | TEL：(087) 851-8061 | (内線3120) |
| 技術管理課長 | 石田 | 和敏 | | (内線3311) |
| 技術管理課長補佐 | 門田 | 隆志 | | (内線3314) |
| 品質確保室長 | 石井 | 讓治 | (港湾空港関係) | (内線6413) |

平成23年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会

開催結果の概要

日時：平成23年8月31日 14:00～16:00
 場所：サンポートホール高松（ホール棟）5階54会議室

出席委員 渡邊法美委員、松島学委員、木原茂委員

I 報告事項

- 1) 平成23年度 総合評価方式の取り組みについて
- 2) 平成22年度の総合評価方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成23年度（平成23年度実施方針に基づいた案件）工事49件（本官契約案件）について評価項目の内容等を提示。

また、平成23年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等32件（本官契約案件）について提示。

本官（本局）契約案件

【工事関係】

平成23年度実施方針に基づいた案件

H23.7.31 基準日

| | 開札済み | 手続き中 | 準備中 | 合計 |
|----------|------|------|-----|-----|
| 高度型 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 標準型（I型） | 1件 | 9件 | 13件 | 23件 |
| 標準型（II型） | 3件 | 0件 | 1件 | 4件 |
| 簡易型 | 6件 | 5件 | 11件 | 22件 |
| 総合計 | 10件 | 14件 | 25件 | 49件 |

【業務関係】

平成23年度対象案件

本官（本局）契約案件

H23.7.31 基準日

| | | 開札済み | 手続き中 | 準備中 | 合計 |
|----|----------|------|------|-----|----|
| 業務 | プロポーザル方式 | 8 | 4 | 1 | 13 |
| | 総合評価方式 | 17 | 1 | 0 | 18 |
| 役務 | 企画競争方式 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | | 26 | 5 | 1 | 32 |

III 主な意見の概要

- ・技術提案を求めるにあたっては、過度なコストを要する提案を抑制するような記載方法等の更なる工夫に努められたい。
- ・技術提案を複数求める場合は、技術提案毎に品質確保の観点から加算点のウェイト付けに留意されたい。
- ・低価格入札については、実態をより正しく把握するため、契約状況だけでなく低価格入札札数の状況を含め、更なる分析に努められたい。